「らんまん」 No.3

季節もあっという間に春から夏に変わり、1学期も後半を過ぎました。不安定な雨や蒸し暑い日が続いて、疲れもたまりやすく体調管理が難しい頃ですね。早々に水着を準備していただいたものの、着替えて遊ぶ日がずれていきましたが、水着に着替えるとダイナミックに遊びが展開されていきます。今の時期はなんといっても水遊び！砂場で水を流したりプールや温泉を作ったり、濡れても汚れても平気です。またテーブルには容器や用具が準備されていて、石鹸遊びから泡遊びやシャボン玉遊びへとその日その日の状況に合わせて感触を味わったり、考えたりしながら友達と関わったり、異年齢児で関わったりして五感を通して楽しみ、いろいろな場で子どもたちの遊びたい気持ちが高まっています。このような遊びの中で、試行錯誤しながら「遊び込む」ことを大事にして思考力を育んでいきたいと思っています。

水着に着替えるのも、この時期に生活習慣（衣服の着脱）身に付ける絶好の機会です。着脱の苦手な子も、家では甘えていても、それなりに結構自分でやっていて子どもたちなりに頑張っています。今週からプール遊びも始まり、明日はいよいよすみれ組のお泊り保育！ドキドキ・ワクワク・ソワソワなところでしょうか。

汗をいっぱいかいて精一杯活動しています。熱中症の心配もありますので、おうちではゆっくり体を休め、心のエネルギーを補充してあげてくださいね。

～保育参観・学級懇談～

盛りだくさんの内容になりましたが、クラスでのお子さまの様子から家庭とは違った育ちを感じ取っていただけたのではないでしょうか。昨年から今年の課題として、特につけたい力として「話を聞くときはきちんと聞く」、「お箸の正しい持ち方」、「正しい姿勢で座る」を頑張っていきたいところで、いつも先生はねらいにもって進めてます。学級懇談会では、そういう学習規律につながる生活習慣の確立に向けチェックシートを用い行いました。つけたい力への保護者の意識が高いこともよくわかりました。難しいことは親の意識があってもなかなか子どもの姿が思うようにならないことですね。行儀よく座ってほしいけれど姿勢が保てないことや、どうしても箸がうまくもてない、どのように教えたらよいかわからない、朝ごはんは食べているけれどしっかり食べられていなかったかな・・・・・など担任や保護者の方の話を聞いてちょっと安心したり、そんな考えもあったりが聞けて一緒に子どものこと、子育てのことなどを考えられた時間になりました。

「子育て」にはいろいろな方法や考え方もあるでしょう。親の意識がなくなると子どもの意識も薄れもっと身につかなくなるようにも思います。強制的にさせるのではなく、安心できる居場所やあたたかい人間関係を優先に、少しのできた！を感じながら、褒めて、長い目でかかわってほしいと思います。

～様々なものを自分で見つける体験！驚き体験！新たな出会いで育つ～

今年は、ジャガイモがたくさん収穫できました。畑に行くと「ジャガイモはどこにあるの？」から始まり、土の中から少しだけ顔を出しているジャガイモを見つけては思わず犬かきのように小さな手を動かし、掘り出していたようです。ジャガイモを手にした子どもたちの顔は達成感、充実感、満足感でいっぱいでした。また国蝶オオムラサキに出会ったことは、ニュースでも見ていただいたように子どもたちにとって本物に触れ、感動体験となりました。じっくりと観ていた子どもたちのまなざしが印象的でした。

今の子どもたちは、ほしいものは何でも手に入る時代に生まれてきています。恵まれているというのでしょうか。自分で見つける体験が少ないので、自分で見つけることで得るものこそ育ちの源だと思います。理解は驚きに始まると聞いたこともあります。驚きは自分で感じるものですので教えることはできません。是非、お子様の“見つける体験”“驚き体験”を増やせる夏になりますように。

文責　西川朋子